

【教育グループ】 堀金中学校 山口愛花里

私は、堀金中学校二年、山口愛花里です。教育グループは、五人で構成され、学校教育、学校給食、社会教育、公民館、図書館、文化振興について学習をしました。そこで、各議員から質問をさせていただきます。

私は、文化振興についてお尋ねします。

私は、安曇野市民でありながら、安曇野の文化を知らない人が多いことが課題だと思います。これは、安曇野市に住む人の多くがさまざまな文化芸術に触れる機会があるにもかかわらず、文化に関心がないことが原因だと考えます。

このことに対して私自身は、積極的に安曇野の文化について調べて、周りの人と一緒に考えるなどして、文化を広めていきたいです。

また、さまざまな文化芸術にふれて、その経験を活かして、大人になっても文化を発信していきたいと思います。

市としては、例えば、市民が幼い頃から文化に触れられるように、安曇野の文化を題材とした絵本などを作って教育機関を通して読んでもらったり、各家庭に安曇野の文化をまとめた小冊子を配布したりすることなどに取り組んでもらいたいと考えます。

これらに取り組むことで、安曇野市は、安曇野らしさがあふれた、さらに魅力的な町になると思います。

最後に、安曇野の良さや文化を私たち市民一人ひとりが知ることで、安曇野市の活性化にもつながると私は考えます。

【ご担当部 教育部長】

【教育グループ】 明科中学校 谷川弘樹

僕は、明科中学校二年谷川弘樹です。

僕は、安曇野市の図書館利用の促進についてお尋ねいたします。

現在安曇野市にある五つの図書館、登録利用者数が約三万七千人で、貸出冊数は、一年間で約七十四万四千冊となっておりますが、僕は、このままだと、図書館の利用者数は減少してしまう可能性も考えられると思います。そう思う原因の一つとして、情報機器の発達が挙げられます。今では、調べ物や小説を携帯で見ることができるようになってきています。そのため、必要な事は全て情報機器で済ませ、図書館に行かなくなる人が増えると思います。そしてこの問題を解決するには、図書館の魅力などを、もっと多くの人に知ってもらうことが大切だと思います。

そのことの実現のため、まず僕自身、積極的に図書館を利用していきたいと思います。そして、良かった本や、調べ物をする時に便利な本などを、友達に紹介していきたいです。そして市には、もっと多くの人に、図書館を利用してもらうために、季節ごとにその図書館でのお勧めの本や、新しく入荷した本を資料やプリントにして、地域の小、中学校や高校、市役所や家庭などに配布するなど、もっと多くの人に安曇野市の図書館のことを知ってもらうようにしてほしいです。それを手に取った人が、読んでみたい本が見つかり、図書館に興味や関心をもつ人が増えるかもしれません。また、例えば、明科の図書館は、子どもと大人の交流施設、「ひまわり」の中にあり、他にも児童館や講演などができる場所もあります。よって、このような場所を使い、本を使った劇や紙芝居、交流会などを今まで以上にやれば、大人から子供まで、世代を超えた人たちが集う、地域の中心的な場所になると思います。そして本によって、おおくの知識が得られ、地域の活性化にもつながっていくと思います。

【ご担当部 教育部長】

【教育グループ】 豊科南中学校 古市恭介

私は、豊科南中学校二年古市恭介です。

私が思う安曇野の教育分野の課題は、学習支援の問題です。私の中学校では、もっと学力をつけたいけれど、その方法が分からなかったり、学習内容でつまづいてしまったりして成績が振るわない生徒がいることです。その原因として私は、一人一人のペースで学習できないことだと考えます。

その対応策として、放課後などの時間に公民館や図書館といった公共の施設で、元教師の方などに来ていただき、指導を行ってもらい、学力の向上につなげていけたらどうかということです。学校での授業だけでは身に付かない人も、自分のペースに合わせて指導してもらえれば十分身に着くのではないのでしょうか。

また、今、少子化が問題になっているため、せっかくの学力を向上させても他へ出て行ってしまえばもったいない気がします。そこで安曇野のここが良いや、こういうところがいいというように安曇野の良さを伝え、理解してもらえれば、安曇野に愛着がわき、ここで働いてくれる人が増えると考えます。このことをふまえて安曇野の子どもたちために地域学習をしたらどうでしょうか。安曇野の文化、昔話、歴史、遊び、自然などを学ぶのです。これを学習支援と並行して行うのです。そのために、私は学習に積極的に取り組み、安曇野の良さを自ら伝えていきたいです。そして、市は、公民館などの授業ができそうな施設を用意したり、安曇野在住の専門知識をもった方々に、呼びかけて協力していただくような働きかけをしてほしいです。子どもたちだけでなく、教えてくださる地域の方々もきっとやりがいを感じてくれるはずです。このような事を行うことで、将来より安曇野がゆたかになり、地域の活性化にもつながります。いかがでしょうか。

【ご担当部 教育部長】

【教育グループ】 穂高東中学校 酒井 並木

私は、穂高東中学校二年、酒井並木です。

私は、学校給食の食べ残しを減らすことの向上についてお尋ねします。

まず給食の食べ残しについてですが、食べ残しが出る原因は主に好き嫌いが原因だと私は考えました。

この課題に対して私にできるのは、苦手なものが出てきても我慢して食べることです。しかし、それができない人も多いと思います。そこで、市では、各中学校へアンケートを配り、好きな食べ物と苦手な食べ物を書いてもらい、それを集計し、苦手とされる食べ物と好きとされる食べ物を一緒に食べてもらえる工夫をしたり、栄養的にはあまり変わらない食材へと変更すれば、子どもの好き嫌いにもつながるし、食材のムダになることを防げます。また、安曇野産の食材などを使い、安曇野らしい給食の開発を行っていけば、安曇野の良さをアピールしながら愛着が湧き、誇りを持って食べてもらえると思います。

これまでの原因としてきた好き嫌いの他に、時間と量のバランスが悪いことが挙げられます。自分に合った量とバランスを考えることも大切です。その中で、各クラスが給食を協力して食べると、食べ残しも減らすことの向上ができると思います。

質問は以上です。

【ご担当部 教育部長】

【教育グループ】 穂高西中学校 瀧澤 文

私は、穂高西中学校二年、瀧澤文です。

私が課題に思っていることは、今年度から学校の部活動につながる社会体育が廃止となったことです。

昨年度まで、社会体育があることにより、練習時間の確保ができたり、各種の大会にも参加して、多くの試合経験を積むことができていました。また、保護者の方たちが保護者会を作って、大会への移動の手伝いや審判の手伝いなどをしてくださっていました。

今年度は、まだ、社会体育が廃止された初年度で、学校の先生方もいろいろな対策を考えながら、対応をされているようですが、これからもこれまで参加できていた大会に参加できるのか、また、保護者の方たちに安心してお手伝いをしていただけるのかなど、心配な面があるようです。

私達生徒は、まずは現在所属している部活で、普段の練習にしっかりと取り組むとともに、必要に応じて自主練習を行ったりすること、また、礼儀やあいさつ、言葉遣いなどがきちんとできるようにしていくことなど、しっかりと部活に取り組んでいくことが大切だと思います。

しかし、いろいろな大会に参加して経験を積んだり、安心して保護者の方にお手伝いをしていただくためには、市として部活動に対するルールや仕組みなどをさらに整えていく必要があると思います。

そうすることによって、私達生徒が部活動にしっかりと取り組めるとともに、保護者の方たちも積極的に部活動に関わって下さり、先生方に一方的な負担をかけることなく、安曇野市の中学校の部活動がさらに充実していくと思います。

【ご担当部 教育部】